エス書店

成人向

純愛、それは美しい

おー
おー
ギ!!
ギ!!
ギ!!
ギ!!

藍　下がっていいわよ
はっ
……紫様
僭越ながら
申し上げますが
近ごろ、少々
入れ込みすぎでは？
紫様がひとりの人間の庵に
通い詰めている事…
神々や妖怪の間でも
既に噂されております
それにあの男は…
藍
下がっていいわよ

…出過ぎた真似を…
ではこちらを
ええ、ありがとう
……周りの噂など
どうでもよいのだが
紫様
あなたはそれで
良いのですか……？
ふふふ
ふふふふふ

妖怪の賢者が
人間に想いを寄せているだなんて
ふふふふふ
ああ可笑しい
あははは
あはははは

トントン
トン
カチャ
紫さん
あ、起こしてしまいましたか？
ケホ…
横になっていてください もうじき夕餉の支度が整いますので
はい
トントン…
グツグツグツ
いつも……すみません

…あっ。
獣の肉ですか……
今朝獲れた牡丹です
貴方は血が悪いのですから肉を食べないといけません
我が儘は駄目です
い、頂きます
ぐっ…
……紫さん コレとっても硬いです
りょ、料理は最近始めたので仕方ありません
素材はいいものなので全部食べてください
でも、美味いです
ありがとう

チャプ……

あ……
ああっ…
？…
食器の片付けがまだ…
紫さんがそばに居るとたまらないんだ……
あ、
後でもいいじゃないですか
それともこういうのは、嫌？
はぁ
はぁ
はぁ
…！

嬉しい…
ぞくっ…
すごく嬉しいわ……
はぁ…
はぁ…
不思議な匂い……
スン
スン
スン
ぴくっ
えっ、それって…
何か…寝かせた化粧の様な落ち着いた香り…
すぅー…
ぷる
ぷる
ぞっ…
ぐぐっ
はっ…
はっ…
紫さんの匂い……
食事中もずっと目に毒だったよ……
こんなに胸元を開いて此方を誘って…
ああっ、そんな…
そんなつもり…じゃ…
あっ♥
ぷるんっ
なかった? こんなに先を尖らせておいて…?
触られる前から期待していたんじゃ…ないかな?
あっ…
ぞくっ
ぞくっ
ぞくっ
いっ、いじわるしないでっ……
ス
ス…

ちゃんと触ってて……
ぎゅっ…♡
あっ♡
すごいな、この乳房の弾力……
ぴくっ
ん…
ぎゅむっ♡
ぴくっ
あっ…ふ♡
んっ…♡
僕の細い指じゃ弾かれる
はっ♡
ぎゅっ♡
あっ♡
ビクッ
う〜♡
其方も…お尻に硬いのが当たってますよ…♡
…♡
……もう♡
大きなお尻の谷間で挟まれたせいなので紫さんが悪いんですよ
ふよ
ふよ
ふよ
シゴかれるだけで甘い声を漏らして…
この家が人里から離れていて良かった
はっ…
ぴくっ
ぴくっ
もみ
もみ
んっ
あっ…
はあん…♡
あ、そうだ紫さんにしてあげたい事があるんです
…え？
布団の上でうつ伏せになって下さい
は、はい……

え、えっと……
あの……これは？
ドキドキ
按摩ですよ
紫さんには
いつもお世話に
なってますから
ぎゅっ
あ…
ぎゅむっ
ぎゅむっ
肌が冷たいですね…
夜はもう
冷えますから
気をつけないと
んっ…
すーー
はっ…
それに何か
硬（こわ）ばっている様な
そ、それは緊張で…
ぺろん
あっ
それでは解して
あげませんとね
びくっ
ムワァ…
ふる…
ふる…
ふる…
ああ、これは……
重くて凝ってそうな
お尻ですね
い、言わないでっ……
何言ってるんですか
とても素敵ですよ…

もち
もち
先ほど僕を嬉しそうに挟んでいたのはこの谷ですね？
キュ
おや、冷えた肌と打って変わりこちらは随分温（ぬく）いですね
あ、貴方はまたそうやって私を揶揄（からか）ってっ……
…ん
ムギュ♡
ああ失礼、揉んで解さねば
むく
ぽよ♡
手のひらにたっぷりと伝わる肉の量……
!…っ
びく
っ……
ぐに
ぐにー
じん…♡
親指にじゅくじゅくとした感触がありますね…
くちゃ♡
くちゅ♡
うず
うず
うず
ぐにー
ぐにー
あんっ♡
まるで熟れた桃を押し潰している様な…
ぷる…
ぷる…
そ、そこを触って……
は…♡
欲しい、です……
は…
ぷる…
さわって…
ゴク…

あっ…
あっ…
っ……
あっ♡あ〜っ♡
ヌチュヌチュ
ヌチュヌチュ
ヌチュ…
すごい溢れ具合ですね…
僕の指の動きにいちいち反応してっ……
あっんっ♡
れろれろれろ
ころころ
ちゅうちゅう〜っ♡
あっんっ
れろれろ
んっんっ
びくっ
奥からどんどんと湧いてきますよ……
あっ♡
びくっ
びくっ
んっ…♡
いっ…♡云わないっ…で
あっ
あっ
はーっ
はーっ
れろれろれろ
ムニュ
ムニュ
ムニュ
あっ
あっ♡あっそこっ♡
ぢゅぱっ♡
ぢゅぱっ♡
ぷくっ
そんなっ
ぢゅぱっ♡
だめっ♡
ちゅーっ♡
あっ
あっ〜♡
ぴくっ

だめっ
いっく…♥
ぞくぞくっ
ぞくぞくっ
じゅるっ
しっく しっ～～♥!!
っっ～～♥
びくくんっ!!
びくくんっ♥!
え～!!
びくくん～!
じゅるっ
あっ♥ あっあ～～っ♥
ぞくっ
ちゅ
ちゅ
あっ…
きゅっ
ぞくっ
ちゅぽっ
あっ…♥
はっ♥
ぞくっ
びくっ
んっ…♥ はっ…
はぁ…♥
ぞくっ
かくっ…
は～～っ♥
ぞるっ…
は～…
かくっ…
ぞくっ
ぞくっ
びきっ
紫さん……
あっ…
びきっ…
ぞくっ

っ…♡!!
ビクッ…
プク
ビクッ…
見て下さい…紫さんが
乱れているのを
見ているだけで
こんなに勃って
しまいましたよ……
そんなっ…♡
触って……
はぁ…♡
はぁ♡
びくんっ
びくんっ
びくんっ
びくんっ
あっ…♡
すごい
す〜
は〜
硬くて
熱くて
男性の…
生命の"におい"
がする……
びくっ
す〜
は〜
びくっ
あっっ…
ロ
うっ…
びくっ
あっ
あっ……
ん♡
紫さんの口っ……
んっ♡
ぬるぬる
ちゅぽ
ぬるぬる
ちゅぽ
んっ♡
がくっ
温かいっ…
がくっ
はむっ♡
んっ♡
ちゅぽ♡
ちゅぽ♡
んっ♡
ちゅぽ♡

ぢゅっ♥
がぽっ
おっ
がぽっ♥
がぽっ♥
ぢゅっ♥
紫さんっ…
お尻が厭らしく
動いちゃってますよ…
僕のをしゃぶって
そんなに嬉しそうに…
ぷりんっ
ぷりんっ
んっ
んっ
ぬる
ぬる
ぬる
ぬる
ポーッ
ぷはっ♥
びくんっ
びくんっ
ふふっ……
さて次は貴方が
横になる番ですわ
はぁ…
すぅ…
先ほどのお礼を
してあげませんと……
どちらがお世話を
される側なのか
しっかり
教えて差し上げます♡
ふぅ♥
ふ～っ
ふ～
つんっ

んっ…♡
はぁっ…♡
熱くて谷間が焦げてしまいそう
気持ち…いいですか？
は、はいっ…
みち
もっともっと気持ちよくなって…
全部っ♡吐き出してくださいっ…
♡
にちゅ
にちゅ
にちゅ
あっ
あぁっ
うわっ…
ふ…ふ…
はぁっ
ああっ！駄目ですそこっ…
ぷるんっ♡
ぷんっ
私に…貴方の全てをぶつけて♡
はっ
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
ヌチュ
イ、イきますっ
射精ますっ
あっ…あ！

れろ れろ
れろ れろ
はぁ
はぁ
ぴちゃ ぴちゃ
ぴちゃ ぴちゃ
びゅ
びゅ
あ♥
ビュッ!
ビュッ!
びゅっ
あっっ♥
びゅっ
ぐっ…
あぁぁぁ…
ん♥
んっ♥
びくっ
ぶる…♥
ぶる…♥
びくっ
あっ……!!
きゅ
きゅん
ぢゅうぅぅー
ぽん
……ふふ♡
ぺろ
ぺ…
ぺ…
どくっ
どくっ

ぬちゃ ぬちゃ
ぬちゃ ぬちゃ
ああっ……いやぁっ♡
こ、これ以上焦らさないでっ♡
早く挿れっ……
てっ♡
ぴく ぴく
ズチュ♡
あっ♡
びく びく
ずー
か!っ♡
ぱぶ ぱぶ ぱぶ ぱぶ
ぞくっ ぞくっ
ぁあぁ〜ああっ♡
びくっ びくっ
ひく♡
…軽く果てました?
つ〜〜〜!!♡
ビクッ
ぷにゅ
きゅんっ きゅんっ♡
きっ
聞かない、で…♡♡
きゅんきゅん♡
きゅん♡

ああっ、紫さんの膣内っ…
襞がヌルヌルでっ
ズチュ ズチュ
あっ
ズチュ ズチュ
ぶるるんっ
あっ
あっ
あっ
入り口で僕の根元を締め付けて…
ぶるんっっ
肉棒に絡みついてくるっ
あっ
ヌチュ ヌチュ ヌチュ
なんて欲深い女陰(ほと)なんだっ!!
っ♥ ぐじっ
ピクッ
っ♥
いひなぃっ♥
どっ
あっ♥
ぶるんっ
たぷっ
ドチュッ ドチュッ
ぐチュッ
きゅんっ きゅんっ
ぬぽっ ぬぽっ
感じてる紫さんっ可愛いですよっ…!
…ぐ
…!!
ゲホッ
ゲホッ
っ…大丈夫ですか!?
……っ、いやぁ 興奮して息が喉に引っかかっただけです
ハハハ…
……

あっ♡
ぴくっ
ぴくっ
ずぷぷぷ…
ん〜〜♡〜…
んっ…♡
はっ…♡
はっ…♡
いえ、あまり無理をなさらずにっ……
♡♡♡っ
すいませんっ…
お世話は私の役目ですからっ…♡
ああ、でも貴方の此処はっ…
まだこんなにっ♡固く反り返って…
ぶるんっ♡
喉が乾いたな
たぷんっ
あんっっっ♡
ぶるんっ
ハァ
ハァ
ぶるんっ
ハァ
あっ
どちゅ
どちゅ
どちゅ
あっ
貴方っは♡
こんな時にっ…♡悪戯をっ……
ふふ♡
ちゅう
ちゅう

美味しいですか？♡
なでなで
うん
ちゅーー…っ
ぱっ♡
ぱっ♡
んふ…
のっ…
のびちゃうっ…♡
ころ
ころ
ぷるんっ
ハァ…
はぁ、元気出た
そのまま後ろ向きになってもらえるかい？
え？
あっあっ♡
あ♡
あっ♡
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ぱんっ
ああっこれはすごい
紫さんのまあるいお尻を堪能できますっ…
ハァ
ハァ
ハァ
あっ、これ……
すごくっ…んっ♡恥ずかしいんですけどっ…♡
ハッ
ハァッ
ハァッ
あぁ…
全部丸見えですからね…
桃色に染まった肛門も助平に咲いてますよ♫
ヒクッ
くぱっ
やぁんっ♡

ハァ
ハァ
ビクッ
紫さんっ…膣内（なか）がどろどろですよっ…
ザクッ
ビクッ
こうやって打ち付ける度にっ
パン
パン
パン
あっ
あっ
あっ
あっ
ヌポォ
ビュッビュッ
あ～～っ
ぞくっ
ぞくっ
ぞくっ
ぞくっ
奥からどんどん溢れてくるっ……
ああ、
ぶるっ
ぶるっ
あっ
あっ
やぁっ
気持ちよかったら我慢せずに吠えて下さいっ！
ビクッ
ビクッ
ビクッ
どちゅ
どちゅ
どちゅ
きゅ
きゅ
きゅ
ビクッ
ああぁっ…紫っ…さんっ…!!
僕もっ……もう限界ですっ
どちゅ
どちゅ
ほっ
ああっ

ボッ♡
ボ♡
ハッ
ハッ
どちゅ どちゅ どちゅ どちゅ
ヤッ♡
おっ♡
ほっ♡
アッ♡
アッ♡
アッ♡
ハア
ハア
ハア
ハア
どちゅ どちゅ どちゅ
がく
がく
がく
がく
ヒュー…
ヒュー…
ッ
は♡
はっ、はいっ… 来てくださいっ♡
私をっ♡ この淫らな体をっ!!
貴方でいっぱいにしてくださいっ!!!
はっ♡
あ♡
は♡
ぶるんっ
たぷっ
は♡
ハア
ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ ぐちゅ
ズッ ズッ ズッ
ハア
ハアッ…
紫さんっ…… イきます!!
射精（で）ますっ このまま膣内（なか）にっ 全部っ……
あっ
あっ
あっ
ずぼ♡ ずぼ ずぼ♡

ビクッ
あっ♥
ビクッ
ぎゅっ
うっ…
ごりゅっ
ドクッ
ビクンッ
ビュッビュ
ビクンッ
ビュ
ビュ
あああああっ♥
ビクンッ
うっ…
ぐっ…

んっ
んっ♥
ぬちゃ
ぬちゃ
っ…
♥
くぷっ…
っ…♥
はーー…
ギチュ…
ビク
ビク
ギチュっ
はー…
びく
びく
びく
びく
今……紫さんは幸せかい――――？
ええ、とっても……
貴方とこうしているこの時が……
永遠に

ガハッ!!
っ…ぅ…
…ハァ
っ…
ゲホッ …オェ
ぜ…
ヒュッ…
ぜ…
ヒュ…
ああ……
紫さ……ん
ゲホッ… 労咳だ…君も気をつけないと…
ゲホッ
ゲェッ…
ッ…… ハアッ

手を……
冷たいだろう
体が死ぬ準備をしているんだ……
分かる……
身寄りもなく治す金も無い……
そんな僕に君は…尽くしてくれた……
知らないふりをしていれば享受していられると思っていた
それももう、終わりだ
ゲホッ
傍（そば）に……
フ……

僕は……一人の"ひと"として君を愛した
紫さん……君は……？
っ…!!
ゲほっ
ヒュッ…
…ヴッ
……ゼェッ
ケホッ……
そろそろ疲れた…
先に………眠ることにするよ
今までありがとう

ふふ…
ふふふ
火遊びの種が♪
あははは
死んだ
偉そうな大妖怪の
想い人が♪
死んだ
良い様だ
人間の男が
死んだところで
お前には
どうせ一瞬の
出来事のくせに

ドチュ
ぎゃ
アァァァン
ズ…

ギ!!
ギ!!
ギ!!
ギ!!
ギ!!

ごそごそと何の音と思えば…夜中に一人で何をしておるのじゃ？
手慰みなど…我に任せてはみんか？
えっ、あっ、ごっ…ごめんなさいっ
ん？
えっ、あの…
びくん…
お、お願いします
なんじゃ、もう吐きだしおって…
んっ
あっ…あっ
でちゃうっ…
がくっ
あっもうっ…先っぽだめっ
がくっ
未だ硬い故続けるぞ？
ビュ
ビュ
おっ…っ♥
きゅ♥
きゅ
ひくっ
ぞくっ
あっ…

ん…っ♥
ゆさ
ゆさ
ゆさ
ぱんっ♥
あっ あっ 気持ちイイっ♥
ぱんっ
でも…抑えられなくって……
ずちゅ
ずちゅ
じわっ…♥
ずぷ
ずちゅ
こんな事…寝ている屠自古さんを襲うなんてっ…
ぱんっ
ごめんなさいっ…
あっ…
ゆさ
ん…っ♪
コクっ
ぱんっ
ほ
ん
っ♥
あっでちゃうっ…大きなお尻のお肉でっ
でるっ…
びくっ
びゅるっ
びゅるっ
うっっっっ

どうですか？ もう幻想郷には 慣れましたか？
は、ハイ…
まさか一緒に お風呂に入る事に なるなんて…
本当にっ？
えっ？
少しは道教というものが 何たるかは理解できましたか…
コク。。
フル
プルん
すごいキレイな おっぱい…
上に向いて 張りがあって…
こうして裸で 目の前に立っても…
本当に何とも ないのですか？
ところで君の今後の 予定ですが…
おや？
どうしました？
あ、いえ… なんでも…
ハァ…
フ……!!

番号！　いち！　……ヨシ！さんいです。今回から上下二段での後書きをお送りします。縦に長いな、と思っていたので。まぁどうせ誰も見てないんだけど……

十一年ぶりの東方本でした。いやーまさかこんなに永く漫画を描く事になるとは思わなかった。エス書店の発足と同時に絵を描き始めたので、もう十五年は漫画サークル活動やってるんですね。エス書店は意外と古参。絵と芸風が昭和。うるせえ！

その絵と漫画を描き始めて3年目で上白沢慧音4年目でレミリアを描いたんですね。その時に東方の世界観は魅力的だったんですが、二次創作において「なんで慧音が巨乳なの？」とかそういう流行りに対して何かこう斜に構えて納得できないまま消化不良になって描かなくなった感じで……上手く楽しみ方を編み出せなかったんですね。オチンチンも小さいですし。なんだと？

だけど、まぁ…例のアレと親和性の高いボイスドラマにハマり、そこからスチームで東方をプレイできることを知り、十年ぶりに新作の天空璋をやってハマり……と、まぁ見事に東方がまた好きになりまして。

普段はアイマス同人を作ってて、そちらを知ってる人なら分かると思うんですが、とても華々しいアイドルの二次創作とは思えない冴えない日常、芸能界の裏側みたいなのを妄想したものが多く、それは自分なりに面白さを優先した結果ではあるのですが、なんだか仄暗い薄闇みたいな芸風なんですね。

で、東方も二次創作の潮流みたいなものを気にせず受け入れ、なおかつ原作の設定を頂戴しつつ「しかし果たして全てがそうであろうか」という目線を忘れずに創るとしたら誰が一番おもしろいか、ということで真っ先に思い浮かんだのが八雲紫でした。

妖怪で唯一の賢者であり（たしか）、幻想郷の管理人でもある彼女も多分に漏れず長命であり、それが人間の男に恋をしたら絶対幸せになれないよな…と考え、そしてその恋の相手が甲斐甲斐しく世話をやきたくなってしまうような病人であったら……幻想郷の管理人として、その男の定めである死に対して配慮する事も出来るわけがなくただそばに居てあげる事しか出来ない……みたいな。お前の漫画重いんだよ！

まぁそんな感じで超久々の東方本、ここ数年のウチの作風と相まって暗くベトベトしたモノになりましたが、自分の中ではスムーズに「これが俺の東方じゃい！」と気持ちよく上梓するコトが出来たかな？と思います。そしてこれが俺の金玉。グヨグヨ動いとるねえ。しけてんにぇ！

さて次はその東方に再度ハマったきっかけの東方神霊廟本です。ぶっちゃけまだハードノーコンティニューでクリアしてないんですが、原稿やりつつ打破したいと思います。

へば、まづ。

発行　：エス書店（http://3e.x0.to）　発行人：さんい（3e）
連絡先：tokyosexdestruct@infoseek.jp
発行日：2020年03月22日　静岡例大祭

印刷所：上野印刷様
未成年の購読・閲覧を禁止しております。

エス書店